

きゅうり

京都で毎年7月に行われる有名な催しといえば「祇園祭」です。今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、山鉾巡行が中止となり残念ですが、来年は無事に開催されると良いですね。

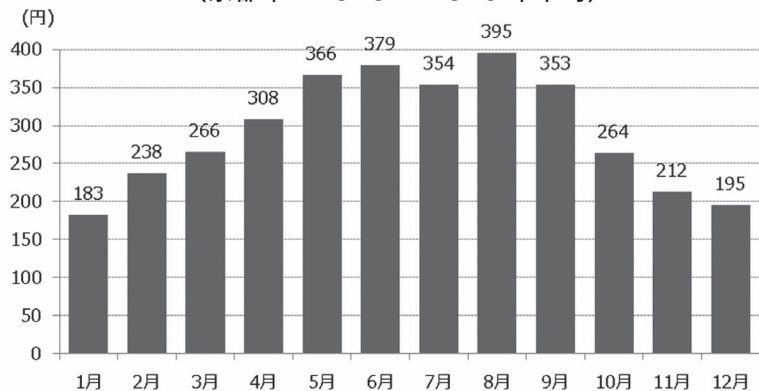
さて、祇園祭とは、「八坂神社」の豪壮かつ華麗な祭礼のことです。ところで、この八坂神社について、みなさんは神紋にどのようなものが描かれているかご存知でしょうか？

八坂神社の神紋には、五^ご瓜^かに唐^{から}花^{はな}が描かれています。よく見ると、今が旬の野菜「きゅうり」の断面に似ていませんか？

そこで今回は、「京都市の夏季におけるきゅうりの支出金額」について調べてみることにしました。

まずは、家計調査（二人以上の世帯）で京都市における1世帯あたりのきゅうりへの月別支出金額（2015～2019年平均）をみると、きゅうりの旬と言われる6月から8月までの夏季にかけて多くなっており、この期間で年間の支出金額の約32%を占めています。これは、11月から1月までの3か月分の合計支出金額の約2倍に相当する割合です。（図1）

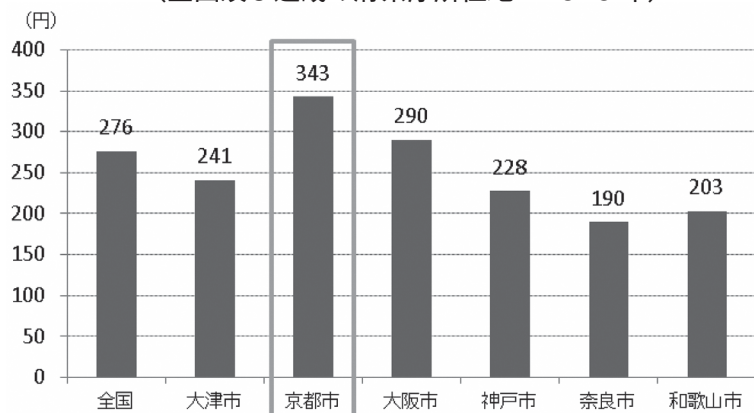
図1 1世帯あたりのきゅうりの月別支出金額
（京都市 2015～2019年平均）



出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）

次に、2019年7月の1世帯あたりのきゅうりへの支出金額を全国及び近畿の府県庁所在地で比較してみたところ、大きく差をつけて京都市が最も多い結果となりました。（図2）

図2 1世帯あたりの7月のきゅうりの支出金額
（全国及び近畿の府県庁所在地 2019年）



出典：家計調査（二人以上の世帯）（総務省）

夏の気温が30℃を超える日の多い京都にとって、水分を多く含むきゅうりは相性がいい夏野菜ですね。

今年の暑い夏も、旬のきゅうりと健康的な生活で乗り切りましょう！